

シリアルポートによるUPS接続時の注意事項について

下記の対象機種においてUPSをシリアルポートに接続して使用する場合は、システムユーティリティから以下の設定を「無効(Disable)」に変更してください。

本設定の変更を行わないと、UPSが認識出来ない現象やUPSとの通信切断が発生し、停電などの電源異常時にUPSによるシャットダウン処理ができない場合があります。

1. 対象装置

ラックサーバ

Express5800/R120h-1M, R120h-2M

Express5800/R120h-1E, R120h-2E

タワーサーバ

Express5800/T120h

2. 設定変更内容

システムユーティリティを起動し、以下の2か所の設定を「無効(Disable)」に変更してください。

システムユーティリティの起動方法は、メンテナンスガイドのシステムユーティリティの起動を参照ください。

➤ 英語表記

- ① System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > System Options > Serial Port Options > BIOS Serial Console and EMS > BIOS Serial Console Port を「Disabled」に設定してください。
- ② System Configuration > BMC Configuration Utility > Setting Options > Serial CLI Status を「Disabled」に設定してください。

➤ 日本語表記

- ① システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成(RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > BIOS シリアルコンソール/EMS > BIOS シリアルコンソールポートを「無効」に設定してください。
- ② システム構成 > BMC 構成ユーティリティ > 設定オプション > シリアル CLI ステータスを「無効」に設定してください。

以上